

# 平成30年度 第1回授業研究会 指導講評

平成30年6月26日(火)  
鴻巣市立赤見台第二小学校

## 1、あいさつ

- : 学校が一丸となって研究に取り組んでいるのがよくわかる。
- 今日の授業について話し合うことで、発表に向けて研究を深めましょう。
- : 研究発表に向けて少しでもお力添えできればと思います。

## 2、授業者 反省・感想

- ・本時は3時間目であり、積み重ねがあったので **Do you like ~?** を用いた活動はスムーズに行うことができた。
- ・映像を見ながら好き・嫌いを答える活動にもう少し時間をさいてもよかったと感じている。
- ・メインアクティビティのルールが児童に細かく伝わっていない部分があった。補足説明をすればよかった。
- ・予想しながらという活動は、めあてにそって、児童も意欲的に取り組むことができた。
- ・新しい英語表現をもっと練習しておけばよかった。(バックチェーン)
- ・ジェスチャーやちょっとした一言もつけくわえられるようにしていきたい。
- ・ふりかえりでは児童の「楽しかった」「インタビューができてよかった」などの内容が書かれていたので、これからも引き続き、児童が意欲をもって授業に取り組めるような指導をしていきたい。
- ・A・Bに分かれ、練習する方法が自クラスでできるかななどをこの後話し合っていたきたい。

## 2、研究協議 発表

A: インタビュー時間がたくさん確保されていたのがよかった。

先生の英語と日本語のバランスが良い。

ジェスチャーの仕方など、確認する場があればよかった。

ルールについて話が出たが、児童は **Do you like ~?** のやりとりを理解していた。

必要感のある活動だった。

B: スモールトーキングが長く設定されていて、教師と児童の関わりがある思考の時間だった。

インタビューの際にBばかりの子がいたので、人数を限ったり、ルールの工夫があるとよかった。

**Let's talking** の練習の時間があればよかった。

活動の最後にサインがもらえたかどうかの確認の場があればよかった。

A L Tとのバランス

## 3、指導・講評

: ベネッセの英語に関する調査では、

Q 小学校英語は中学校で役に立つか → はいと答えた割合 小6 82, 6%  
中1 53, 9%

という結果が出ており、学びのつながりを感じていない児童が多い。小中のギャップをうめていくことが今後の課題になってくる。

指導内容を前倒しにすると、つまずきが前倒しになりかねない。できることは、指導要領を確認し、

それぞれの学年が目標を確実にとらえて指導をしていくこと。

赤二小の課題はモジュール学習。学習内容の効果的定着のためにはどの学習をモジュールで扱うか選択していく必要がある。

コミュニケーションを行うには、アウトプットするだけでなく、その前に思考する過程が大切。必要感ある活動を。

：(指導案について)

- ・ 児童観のところでは、アンケートをとり、結果もグラフで分かりやすく表示されている。
- ・ 楽しい100%がすごい。
- ・ 読み書きに関しての記述→5、6年につなげていきたい。
- ・ モジュールがどのように本時に関連しているのか記述があると良い。

(本時の授業について)

- ・ **warm-up** とてもよかった。先生の英語の指示に児童が慣れ、従っている。  
導入こそ意図が大切。  
教師が積極的に英語を使用するようにしましょう。
- ・ **課題設定** 課題をしっかりと把握し、それが活動に結びついていた。  
「～しよう」という課題は△ 技能がしっかり身についたか意識づける。
- ・ **Main activity** の導入 デモンストレーションが一番大切。モデルとなった役割をしっかりと果たすことが重要。2回ぐらい繰り返してもよい。
- ・ **Main activity** 好きなものの表記の仕方  
Like を用いた必要感のある活動は考えるのが難しい。
- ・ **まとめ・ふりかえり** 英語と日本語の相違点、次の学習や日常生活に活かされることがふりかえりに出てくるといい。
- ・ **イメージとデザインと指標** 何で児童を計るか、指標が必要。

# 平成30年度 第2回授業研究会 指導講評

平成30年9月27日(木)  
鴻巣市立赤見台第二小学校

## ①どんな授業が良い授業か？

- ・ねらいが達成されている。
- ・次にまたやりたい、教わりたい、と思える授業か。



それに対して、子どもはどう思っていたか？ **まとめ**で図り取る。

書いたら子どもに発表させることで、めあてが達成されたか分かる。

## ②モジュール学習との連動

- ・足りない部分を補えるのがモジュール学習。  授業でやってみる。

## ③英語を話す必然性

- ・ゲームの中で数を数える必然性。
- ・「オリンピックがあるから、道案内をしよう。」 → 本当に外国人との会話になっていただろうか？
- 外国人を想定させるような質問をもっと入れるともっと良かった。

Where are you from? I want to eat food because I'm hungry.

## ④指導に日本語が入ってしまうが…。

- ・たくさんデモンストレーションを見せる。 → 思考を生かす。推測させる。理解を求めない。
- ・身振り、手振り、単語で伝える。